

開催報告

在宅医療・介護ICT連携推進事業 ナラティブブック秋田 アップデートミーティング

平成30年2月24日（土）午後1時より由利本荘市西目公民館「シーガル」にて「在宅医療・介護ICT連携推進事業 ナラティブブック秋田 アップデートミーティング」が下記の内容にて開催され、60名が参加した。

最初に、由利本荘医師会の渡邊 廉会長より開会の挨拶が行われた。

続いて、由利本荘医師会の伊藤伸一副会長より事業成果報告が行われた。

その後、「ナラティブブックの開く新しい地平ーものがたられるいのちー」と題して、一般社団法人ナラティブ・ブック 代表理事（医療法人社団ナラティブホーム 理事長／富山県砺波市・ものがたり診療所所長）の佐藤伸彦氏をお招きし、これまでのナラティブブックの活用を踏まえて、情報社会における個人データの自己管理や医療現場におけるナラティブブックの存在価値、ナラティブブックの今後の展望についてご講演いただいた。講演の最後には、ナラティブブックは最先端の情報連携ツールかつ人生のものがたりを紡ぐ友であるという先生のお考えについてもお話いただいた。

休憩の後には、「地域を多職種でつなぐーナラティブブック秋田の活用ー」と題して、由利本荘医師会副会長の伊藤伸一氏と東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座特任研究員の岡崎光洋氏よりご講演いただいた。伊藤伸一氏の発表は地域包括ケアの実現に向けて、ナラティブブックが目指す患者本位の想いまで共有する在宅医療における情報共有に關して、これまでの取り組みやテレビの取材番組の放送をもとに、実際に利用している場面を示した内容であった。また、今後さらにナラティブブック秋田を広めていきたいという考えをお話いただいた。岡崎光洋氏の発表は情報共有におけるICTの活用の有用性についての内容であった。

続いて、ナラティブブック秋田の事例として、医療法人佐藤病院内科部長の佐藤麻美子氏が医師の立場から、すみれ調剤薬局薬剤師の菅井勝也氏が薬剤師の立場から、由利訪問看護ステーション訪問看護師の鈴木知栄子氏と第一病院訪問看護ステーション訪問看護師の岡部留美氏が訪問看護師の立場で発表された。

最後に、「ナラティブブック秋田のもつ『ちから』」をテーマに、パネルディスカッションが行われた。

<<説明会プログラム>>

司 会：ナラティブブック秋田運営委員会
圓谷智夫

1. 開会の辞

由利本荘医師会 会 長 渡邊 廉

2. 事業成果報告：ナラティブブック秋田事業報告

由利本荘医師会 副 会 長 伊藤伸一

3. 基調講演：

「ナラティブブックの開く新しい地平

～ものがたられるいのち～」

一般社団法人ナラティブ・ブック 代表理事
医療法人社団ナラティブホーム 理 事 長
ものがたり診療所 所 長 佐藤伸彦

4. 講 演：

地域を多職種でつなぐ

ーナラティブブック秋田の活用ー

由利本荘医師会 副 会 長 伊藤伸一
東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座
特任研究員 岡崎光洋

5. パネルディスカッション：

ナラティブブック秋田のもつ「ちから」

モデレーター 伊藤伸一

パネリスト：

事例報告「医師の立場から」

医療法人佐藤病院 内科部長 佐藤麻美子

事例報告「薬剤師の立場から」

すみれ調剤薬局 薬 剤 師 菅井勝也

事例報告「訪問看護師の立場から」

由利訪問看護ステーション

訪問看護師 鈴木知栄子

事例報告「訪問看護師の立場から」

第一病院訪問看護ステーション

訪問看護師 岡部留美

ディスカッション

6. 閉会の辞

由利本荘医師会会長・講師の紹介



(圓谷智夫 先生)



(渡邊 廉 会長)



(伊藤伸一 副会長)



(佐藤伸彦 氏)



(岡崎光洋 氏)



(佐藤麻美子 先生)



(菅井勝也 薬剤師)



(鈴木知栄子 看護師)



(岡部留美 看護師)

説明会場の様子

